

貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、誠に勝手ながら、弊社では下記の日程を夏季休暇とさせていただきます。

【夏季休暇期間】 8月11日(土)～8月15日(水)

この期間にご連絡をいただく場合はファックスにてお願いいたします。

FAX:06(6306)4640

いただいた件は8月16日(木)より順次対応いたしますのでご了承ください。

今後ともご愛顧くださいますようお願い申し上げます。



よくあるご質問

皆様からお受けするご質問の中で、よくあるものをご紹介します。
ご参考にしてください。



日次更新で「前月日以前のデータが存在します」のメッセージが出て更新できない



月末などに追加で売上実績入力や入金入力を行った後、
日次更新を行わずに月次更新を行ってしまった場合などに次の日次更新で
上記メッセージが表示されます。
この場合、下記手順にて前月日付の伝票を特定し、削除することによって日次更新が行えます。

※画面は Ver. 6 です (Windows7)

1. 前月日付の伝票を特定する

「1: 売上日次 (1)」→「17: 売上チェックリスト」と

「2: 売上日次 (2)」→「2: 入金チェックリスト」を前月以前の日付範囲で出力し、
前月の伝票を特定してください。

2. 前月伝票の削除をできるようにマスタ設定を変更する

「28: 売上日次 (1)」→「14: 管理マスタ 2 メンテ」で 2 行目の区分 03 (前月日) の値を確認し
「0」の場合、「1」に変更し、F9 ボタンを押して画面を終了します。

管理マスタ2メンテ									
(1)	サービス	登録In	登録No	領収書	返却金	税端数	当月税		
(2)	得扶番	商扶番	前月日	償却有	納品=	外注	基本順		
(3)	仕入@	CTI 見	CTI 画	納PAGE	納備考	諸備考	納日付		
(4)	町名	現入金	個松井	個がイ	前残数	事業ck	入金NO		
(5)									
管理マスタ2	区分01	区分02	区分03	区分04	区分05	区分06	区分07		
1	0	0	0	1	1	0	0		
2	0	0	0	0	0	0	0		
3	0	0	0	0	0	0	0		
4	1	0	0	0	0	0	0		
5	0	0	0	0	0	0	0		
6	0	0	0	0	0	0	0		
7	0	0	0	0	0	0	0		
8	0	0	0	0	0	0	0		
9	0	0	0	0	0	0	0		

3. 対象の伝票を納品実績入力、入金入力で削除する

手順 1 で特定した伝票を納品実績入力や入金入力画面で削除します。
(手順 2 で区分を変更していない場合は削除が行えません。)

4. 前月伝票の入力のマスタ設定を元に戻す

手順 2 で 2 行目の区分 03 (前月日) の値を変更した場合は、設定を元に戻します。

ご存知でしたか？

更新処理の度にとるバックアップ、いつもの流れ作業で何気なく処理していませんか？

実はこのバックアップ、操作の誤りがあった等の理由で元のデータに戻すために非常に重要な作業なのです。過去にこのバックアップが正しく取れていなかったため、大量の手入力作業が発生してしまったという事例もございました。

では、このバックアップ、どのような点に注意して行えばよいのでしょうか？

今回はその注意点について、ご紹介いたします。



1) バックアップのタイミング

システムでは日次更新、請求更新、月次更新、年次更新の際にバックアップを取るよう促されますので、そのタイミングで必ずバックアップを取ってください。

また、任意のタイミングでバックアップを取ることも可能です。

(任意のタイミングでのバックアップは「15：システム管理」→「1：データバックアップ」で行えます。)

2) バックアップの媒体 (MO ディスクや USB メモリ)

弊社ではバックアップの媒体は、下記の通り 1 個ではなく、

複数個用意されることをお勧めしています。

これは何か不足の事態が起こった場合にできるだけ、その直前に近い状態に戻すことでその後の復旧作業の手間を少なくするためです。

- ・ 日次更新：2～3 個
- ・ 請求更新：締日ごと 1 個
- ・ 月次更新：1 個
- ・ 期末更新：1 個

3) バックアップごとに媒体を入れ替える

バックアップを取る前には必ず媒体の入替えを行ってください。

例えば更新処理を 2 回連続で行ってしまうと、データがおかしくなってしまう場合があります。

その際に媒体を差しっぱなしでは同じ媒体でバックアップを取ってしまうことになり、前回の更新処理の前に不正なデータが存在した場合にその時点へ戻ることができなくなってしまいます。

このため、普段からバックアップを取る前には媒体を入れ替えるという意識を持ってください。

(※同じ日や同じ月のバックアップ時でも入れ替えて取ることが理想です。)

なお、更新処理を行ったかどうか分からなくなった場合は

「15：システム管理」→「20：更新日問合せ」

または

「15：システム管理」→「21：更新日リスト」

で確認してください。

少し手間がかかるでしょうか？

しかし、バックアップデータはいざという時の保険のようなものです。

上記の事項に注意していただければ、何かあった時にも、できるだけ最新の状態でバックアップデータに戻すことができるようになりますので、普段からほんの少しだけ意識してみてください。

編集後記

この度は大阪北部地震、西日本豪雨災害におきまして、被災された皆様、及びご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、今回の SP 通信いかがでしたでしょうか？

実はバックアップに関しては 2016 年 8 月発行の SP 通信 Vol.10 にも記載しています。

バックアップは重要な機能の一つですのでお時間があればこちらももう一度ご覧ください。

